

目標（２）

将来を見据えた計画的・効果的な 財政運営を行います



▲公共施設のあり方を考える市民説明会

Ⅰ．目指す姿【PLAN】

| | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目標達成に向けての考え方 | 歳入の大幅な増加が見込めない中、行政サービスを着実に実施していくため、中長期的な視点に立ち、公共施設のあり方など将来にわたる課題に、計画的に取り組むとともに、より効果的な財政運営を行っていきます。 |
| 目標が達成された姿 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ 市税などの自主財源が安定的に確保され、計画的な財政運営が行われています。 ◇ 将来的な公共施設のあり方について、市民の関心が高まっています。 ◇ 市の財政状況に対する市民の理解が深まっています。 ◇ 市民ニーズをふまえ、効率的かつ効果的に行政サービスが提供されています |

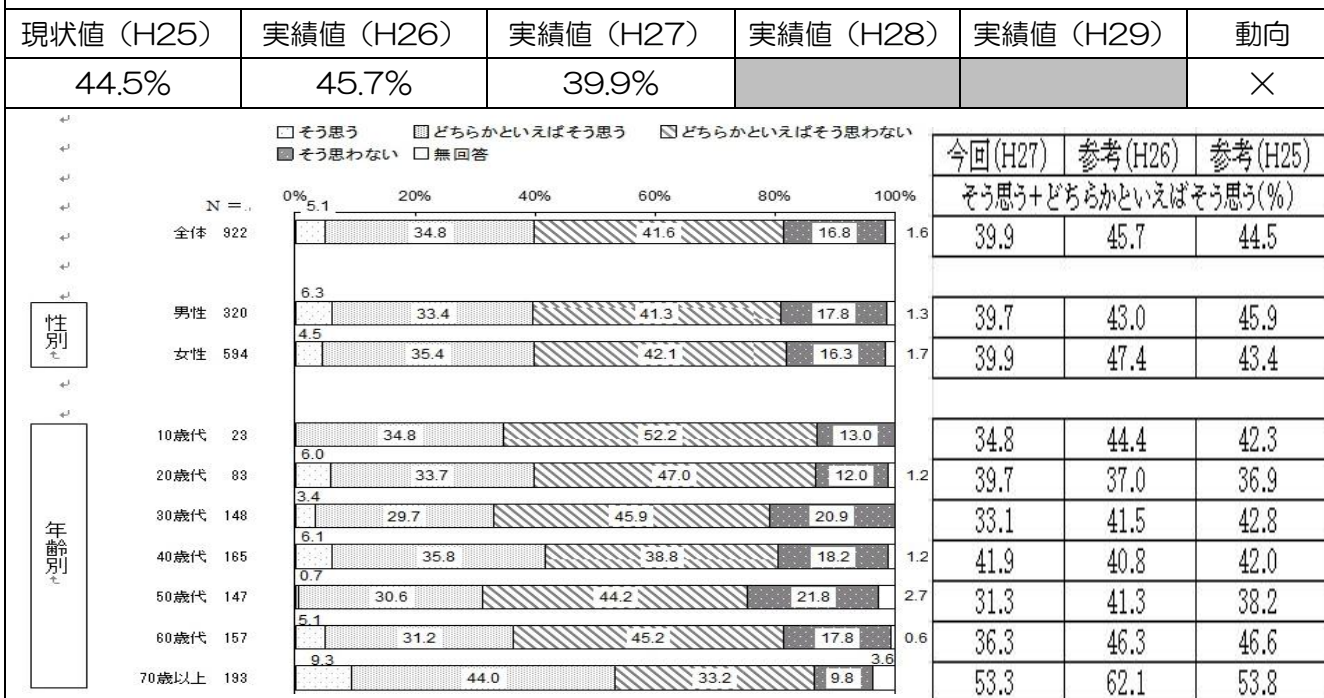
Ⅱ．目標達成のための主な取組み【DO】

| こんなことに取り組みます！ | 何を・どのように・どうした | いつ |
|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|------------------|
| (1) 市税収入など、自主財源の確保に努めます。 | ①愛知県西三河地方税滞納整理機構・愛知県名古屋東部県税事務所と連携し滞納整理を実施 | H27.4～ |
| | ②使用料・手数料見直し（案）に係る基本方針（案）及び試算額をとりまとめた。 | H27.8・10 |
| (2) 限られた財源を重点的、効果的に配分するとともに、継続して行政サービスが提供できるよう、既存サービスの見直しに取り組みます。 | ①行政サービスあり方検討部会を設置し、事業費見直し計画（案）の検討及び作成に着手 | H27.5 |
| | ②「事業費見直し計画」を含む「長期財政計画」の公表 | H28.3 |
| (3) 将来の公共施設のあり方について、市民とともに問題意識を共有しながら、具体的な検討を進めます。 | ①市役所本庁舎建設に着手した。 | H27.11 |
| | ②高浜小学校等整備事業に係る基本計画・実施方針(案)募集要項(案)等公表 | H28.2・3 |
| | ③インフラ資産検討部会を設置し、インフラ長寿命化方針を取りまとめ、公共施設総合管理計画を策定した。 | H28.3 |
| (4) 市民の知りたい、市民に知ってもらいたい財政情報を積極的に提供します。 | ①「平成 27 年度当初予算の概要」・「平成 26 年度決算の概要」冊子の発行 | H27.4・11 |
| | ②長期財政計画（事業費見直し計画を含む。）の公表 | H28.3 |
| (5) 市民ニーズを反映した行政サービスを展開し、行政サービスの向上につながるものについては、国・県・近隣市などをはじめとした関係機関との広域的な連携を行います。 | ①刈谷ハイウェイオアシスで、交流イベント「きぬうら☆うらら音楽祭」を開催した。 | H27.10 |
| | ②（仮称）第2次衣浦定住自立圏共生ビジョン策定にあたり、現行ビジョンに掲げる各事業の評価・課題の洗い出しを行った。 | H27.10～ H28.3 |
| 参画・協働・ 情報共有の工夫 | ☆公共施設のあり方について市民と情報共有するための説明会を開催し、意見を聴取した。 | |
| | ☆教職員、関係団体等の市民の意見を踏まえ、高浜小学校整備事業に係る基本計画をまとめた。 | |

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

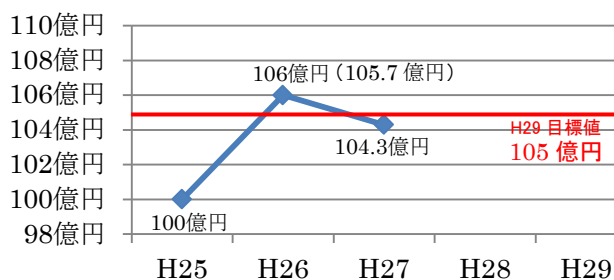
1. 市民意識調査結果

【設問】 将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちだと思う

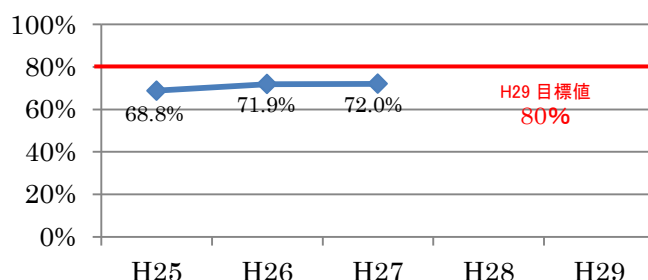


2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 自主財源の額



2) 市の財政状況に関心を持っている人の割合



3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析 (要因・課題等)

- 市民意識調査及び指標2の結果から、「市の財政状況に関心を持っている人の割合」は、微増したものの、「将来を見据え、計画的で効果的な財政運営が行われているまちと思う人の割合」は、全体で5.8ポイント減、年代別では、50歳代と60歳代でそれぞれ10ポイント減少している。居住地区別では、高取小学校区で6.5ポイント上昇、翼と吉浜小学校区で、それぞれ10ポイント強減少している。主な要因は、市民の自由意見欄に多くの意見が寄せられた、中央公民館をはじめとする公共施設の複合化・集約化が具体化し、さまざまな意見が市民の間にあることが影響していると考えられる。今後は将来のために、公共施設総合管理計画を推進していること、および、長期財政計画を策定し、将来も見据えた持続可能な自治体を目指していることへの理解に努めたい。
- 指標1の「自主財源の額」は、1.4億円減少した。主な理由は、個人市民税は約1億円増加したものの、前年度にあった少年野球専用グラウンド用地の売却収入が1.2億円減少したこと、および法人市民税法人税割の一部国有化により、法人市民税が減少したことによる。今後も自主財源の確保に向け、使用料・手数料の改訂や市税等の徴収率向上に向けた取組み、および新たな工業用地の創出に向けた取組みを進めたい。

Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】

| 課題 | 課題解決に向けた新たな取組み（案） 見直し・改善（案） | いつまでに |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| <p>（１）高浜市の次世代に向けた取組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設のあり方を着実に進めていくため、モデルケースである高浜小学校等整備事業について、今後の他の小学校の複合化を踏まえ、取組みの見える化を図る必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 今後、学校施設を地域コミュニティの拠点となるよう、高浜小学校等整備事業について、学校機能を保持しながら、他の施設の機能を複合化することのモデル事業となるよう、情報提供を行うことにより、取組みの見える化を図っていく。 | H29.3 |
| <p>（２）事業の不断の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な財政基盤を構築するためには、歳入・歳出の両面から事業を見直していくことが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 自主財源の確保に向けては、使用料・手数料の見直しや工業用地の創出を進め、事業費の削減では、昨年度の見直し事業を着実に実施する。 | H29.3 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 事業の見直しには、関係者との調整など時間を要するものも多いことから、来年度の予算編成だけを考えるのではなく、事業費の削減や自主財源の確保など中長期的な視点で、取組みを進める。 | H29.3 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 各部門が抱える諸課題への対応や既存事業の見直しに向け、サマーレビューを実施し、効率的、効果的、計画的な事業推進を図る。 | H28.8 |
| <p>（３）徴収力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 徴収力の強化のために、日々の交渉・折衝業務における十分な折衝が必要である。 滞納について意識が薄い滞納者も多々存在するため、粘り強く催告及び折衝等による説得を行う。 自主納付の意欲の低い滞納者に対しては適時適切に差押を行うことが必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 機構経験職員による折衝を軸に、全職員が折衝力を向上させ、日々の交渉業務を適切に行うこととする。 | H29.3 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 電話や文書による催告を全滞納者に向けて随時発することができるようにする。 | H29.3 |
| | <ul style="list-style-type: none"> 必要なときに差押を行うことができるよう、全徴税吏員の機動力を向上し、自主納付の意欲の低い滞納者に対しては財産調査をまんべんなく行うこととする。 | H29.3 |
| <p>参画・協働・ 情報共有の工夫</p> | <p>☆個々の施設の使用料、手数料の改定については、チラシ、ホームページ等の広報媒体を活用して、関係部局等が情報提供を行っていく。</p> | |
| | <p>☆施設利用者の意見をいただくための意見交換会を開催する。</p> | |
| | <p>☆市役所本庁舎整備における情報カフェの運営について、情報カフェの運営が円滑にできる仕組みを構築するため、担い手の方々と継続した意見交換を行っていく。</p> | |

V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

II. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して

—

III. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

—

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- 市内にある公共施設の維持管理や建て替えるのにどれだけのコストがかかるかなどを、図表化・可視化することで市民の理解につながると思われる。
- 公共施設に関わることは、できるだけ早く情報を流してほしい。
- 公共施設の長年の利用者には、既得権と感じている方も多い。そういった市民感情を汲み取りながら、これから進めることについてはより慎重な対応が必要となってくる。

その他、目標の達成に向けて

- 財政の縮小、高齢化の進展などにより、現在の公共施設を維持していく力はいずれ落ちていく。そういった現状を共有することが大切である。
- 既存施設の転用（Conversion）を検討してはどうか。実際には空いているのに使っていないというケースが大都市ではよくある。その施設をフルに使うというこの思想は、非常に大切であると言われている。また、行政の部局間でお互いに協力・融通し合うこと（Crossover）、1つの施策だけのために施設を使うのではなく、複合的な施策効果を目指して使うこと（Complex）、市民と一緒に考え、プロセスを共有すること（Co-Production）、これら4つの“C”で、難局を解決できると思われる。